

建設現場の熱中症対策 | セルフチェックリスト (簡易版)

朝礼 / 配布物 / 記録運用の3カテゴリ・10項目で、現場の対策が「効いているか」を1枚で点検する簡易版です。

会社名		現場名	
実施日		記入者	

各項目について、できていれば「○」、できていなければ「×」、判断つかない場合は「△」を記入してください。より詳細な30項目版もあわせてご活用ください。

カテゴリ	#	チェック項目	○/△/×
朝礼	1	朝礼で熱中症の話題を出すとき、毎日違う切り口で話せている	
朝礼	2	体調不良の自己申告があった場合、ペナルティなく受け入れる空気がある	
朝礼	3	当日のWBGT予測を全員と共有し、リスクが高くなる時間帯と作業内容の調整まで決めている	
配布物	4	配布物(飲料・塩分補給品・冷却グッズ)の在庫が朝の時点で十分にある	
配布物	5	配布物が「誰でも、いつでも、取りに行ける」場所にある	
配布物	6	配布物が「渋滞しない」よう複数箇所に分散配置されている	
記録運用	7	WBGTの記録と、その時点で取った行動(休憩追加など)がセットで残っている	
記録運用	8	配布物を「誰に・何を・いつ・何個」配ったか、記録のフォーマットがある	
記録運用	9	元請-下請間で、止める判断の責任者が文書で決まっている	
記録運用	10	月次で熱中症関連の振り返り(ヒヤリハット含む)を行っている	

結果別「次にやるべきこと」

○の数(/ 10)	状態	次のアクション
9~10個	良好	このまま継続。ヒヤリハットを月次で記録し翌シーズンに活かす
6~8個	弱点あり	○が付かなかった項目を、6月末を目安に整備して再チェック
3~5個	形骸化進行	優先順位をつけて運用を立て直し(30項目版で詳細点検を推奨)
0~2個	危険	即時に運用ルールを再構築。本社安全部とも連携し体制を見直す

メモ欄 (気づいた点・次のアクション)

本チェックリストは、建設現場の熱中症対策の運用面を点検するための補助ツールです。医学的判断(症状の見立て・救急要請の判断)、法令解釈(罰則・労災認定)については本書の対象外です。厚生労働省・環境省・総務省消防庁の公的情報を必ずご参照ください。

発行: 株式会社エルライン / オウンドメディア「Grid」